



2月4日は低学年参観日、12日は高学年参観日でした。多くの方にお越しいただき、子ども達のがんばる姿を見ていただきました。学習発表に取り組んだクラスでは、緊張しながらも自分の言葉でしっかり伝える子どもの姿がありました。同日に第4回学校運営協議会を開催し、たくさんの貴重なご意見を頂戴しましたので、ご紹介します。



コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を導入した学校のことです。学校運営協議会は、茅野市教育委員会が指名した地域の有識者の方に集まっていただき、学校運営についてご協議頂く会です。

第4回学校運営協議会 協議内容

【令和6年度の活動の振り返り・学校評価・非違行為防止研修報告等について】

- ・授業を参観したが、授業風景が変わった。(自由進度学習の授業を参観して)。
- ・自分たちが育った時代は、先生には「権威があった」「怖い存在であった」が、今の時代は変わってきているという印象がある。5年生の授業は本を使って自分たちで一生懸命本で調べるなど、おもしろい授業だった。本の中身も時代によって変化している部分をアップデートできるとよい。
- 「教師主導」から「子どもたちの伴走者」へと指導・支援のあり方が変わってきていること、すべての授業で自由進度学習を実施しているわけではないことを学校側から補足説明。
- ・ICTの活用が進められているが、タブレット中心になって子どもたち同士のコミュニケーション力は落ちていないか。タブレットの活用によって先生方の労働時間は削減されているか。
- 個別の追究ではタブレットに向き合う姿があるが、追究時に友と相談したり、追究内容について友と関わり合ったりする姿がみられる。タブレットを活用する授業構成によって、先生方の授業準備時間が削減されるよさがある。
- ・自分の子どもの様子を見ると、授業のタブレット活用で友だちとのコミュニケーション不足になるのではないと感じる。タイピング能力やパワーポイントの技術はこれから時代に必要な能力。学校で身につけていかないと世の中の流れについていけなくなる。むしろ家庭でのタブレット使用が心配である。
- ・北山小いじめや不登校の状況はどうか。
- 不登校については今年度家事都合以外で30日以上欠席している児童はいない。いじめについては、関係する職員でいじめ対策委員会を開き、「いじめ」と判断した際は、それぞれの児童に複数の職員で丁寧に聞き取りをし、教育委員会の指示を仰ぎながら対応している。保護者に対してもいじめに至った経緯や指導の内容等について丁寧に報告している。
- ・飲酒運転や公金横領は犯罪である。先生方が自覚をもって取り組んでほしい。パワーハラスメントやセクシャルハラスメントは判断が難しい。相手がそう感じたらパワハラ・セクハラになるので十分に気をつけてほしい。
- ・先生方が十分に気をつけていても、子どもたちから先生方に「おんぶ」や「だっこ」を求めてくることもある。子どもたちはコミュニケーションのつもりで先生方にスキンシップを求めますが、本来は家で親にやってもらうこと。特に女子児童が男性の先生方に抱きつくことは困るので、ご家庭でも自分の子どもに「先生方には抱きつかない」等の指導をしてもらうようお願いしていくとよい。

【来年度の学校運営について】

- ・「北山に学ぶ」というのはとてもよい。積極的に進めてほしい。地域のよさをもっと体験してほしい。地域の専門家については、学校運営協議会委員やコミュニティーセンターに相談するとよい。
- ・ボランティアを募集するときに「こういうことならまかせとけ」という、それぞれの得意分野を記入してもらうとよい。
- ・北山地区にはいろいろな人がいるので地域の人材を活用してほしい。地域への発信の仕方を工夫していきたい。

取り組みの紹介

〈地域・保護者のみなさんと共に〉

以前よりも、学校の様々な活動に保護者・地域の方が入って下さっています。それは、学校としてとてもありがたいことです。

学校では、週ごとに学校支援ボランティアの呼びかけをさせてもらっています。また、調理活動や、製作活動、昔の遊びに親しむ活動など、何か体験的な学習をするときに、学級便りなどで活動へのお誘いをしています。子どもたちは、お家の方にけん玉やコマの回し方などを教えてもらうのがとても嬉しいようです。より丁寧な指導ができるので、担任も助かります。土器づくりでは、お家の方が見守ったり、一緒に作ってくれたりしました。大人の方と一緒に活動できるのは、子どもたちにとって楽しいことのようにです。調理活動の際には、多くの方に協力していただいて、安全の面でも本当に助かっています。これからも、ご無理のない範囲で、ぜひ学校にお越しいただければと思います。



〈地域・保護者のみなさんのおかげで〉

低学年参観日の際、2年生保護者の朝倉さんが、学級懇談会でスマホの安心・安全な使い方についてお話をしてくれました。子どもが安全につかうために親として何が出来るかを分かりやすく教えていただきました。先日は、4年生保護者の野澤さんが、低学年に草木染めを教えてください、その楽しさを味わった子ども達は、「春になったらまたやってみたい」と期待をふくらませました。また、6年生保護者の水野さんが、全校児童に自作の紙芝居の読み聞かせをしてくださいました。身近な場所も出てきて、心温まるお話に引き込まれる子ども達の姿がありました。

保護者の皆様の中には、様々な知識や技術を持った方がたくさんいらっしゃいます。そうしたお力も貸していただきながら、子どもたちの将来に役立てたり、可能性を広めたりしていければと思います。これからもよろしくお願いします。



○長野駅で悲しい事件が起こった頃、民生児童委員さん主任児童委員さんお二人が、下校時の見守りを行ってくださいました。大変に心強く、ありがたく思いました。